

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	セントラル・パーク みさき たながわ教室			
○保護者評価実施期間	R 7年3月 1 日		～	R 7年3月 3 1 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)	15
○従業者評価実施期間	R 7年3月 1 日		～	R 7年3月 3 1 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数)	12
○事業者向け自己評価表作成日	R 7年4月 1 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの特性に応じた専門的な支援	・子ども一人ひとりの特性を理解し、適切な個別支援を実施 ・放課後等デイサービス計画に基づき、必要な支援を適切に提供	・支援方法の多様化（例：遊びの中で学べる環境の強化） ・職員の専門研修を定期的の実施し、支援の質向上を図る
2	清潔で心地よい生活空間	・清掃や整理整頓を徹底し、快適な環境を維持 ・子どもの活動に合わせた空間設計	・季節ごとの装飾や工夫を取り入れ、視覚的にも楽しい空間づくり ・スペースをより柔軟に使えるよう、プレイスペースと学習スペースの配置を見直し
3	事業所の支援に対する満足度	・保護者との連携を密にし、支援の質を高める ・支援プログラムの透明性を確保し、事業所の方針を明確に伝える	・保護者向けアンケートや意見交換の機会を増やし、ニーズを定期的に把握 ・家庭と連携できる支援内容（宿題サポートや生活習慣のアドバイス）を強化

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや地域交流の機会が少ない	・地域の子どもの連携活動が限定的である ・外部との調整が難しく、活動の場が確保しにくい	・近隣の児童館やクラブと連携し、合同イベントを企画 ・事業所内で地域交流イベントを実施し、保護者を交えた活動を増やす
2	兄弟・保護者同士の交流機会が少ない	・兄弟向けイベントの認知度が低い ・保護者同士の交流の場が設定されていない	・兄弟が参加できるイベントを増やし、周知を強化 ・保護者向けの座談会や情報共有会を定期的開催し、交流の場を提供
3	・非常時対応訓練の周知不足	・訓練の機会が少なく、保護者への説明が不十分 ・防災意識を高める取り組みが限定的	・定期的な防災訓練を実施し、保護者へ報告・共有 ・子ども向けの防災ワークショップを開催し、非常時の対応を学べる機会を提供